

PRESS RELEASE

2025 年 4 月 11 日
ガーデンネックレス横浜実行委員会
GNY003

横浜市：「ガーデンネックレス横浜 2025」

大さん橋にガーデンベアが遊びに来た！

ガーデンベアのライブペイント

～4 月 19 日にはガーデンベアデザイナーの伊藤有孝氏がペイントし、
以降、来場者参加型で、巨大アートを完成～

横浜市は、横浜の街を舞台に美しい花と緑をネックレスのようにつなぐ「ガーデンネックレス横浜 2025（主催：横浜市／運営主体：ガーデンネックレス横浜実行委員会）」の一環のイベントとして、4 月 19 日から 5 月 18 日までの間、横浜港大さん橋国際客船ターミナルの出入国ロビーにある大型ホワイトボードに、マスコットキャラクター「ガーデンベア」を中心とする巨大アートを完成させます。

今回の「ガーデンベア」が登場する巨大アートは、国内外からの客船ターミナルでもあり、多くの来場者が行きかう「大さん橋」を、お花をめぐる回遊スポットとして「ガーデンネックレス横浜」及び「ガーデンベア」とともに盛り上げるために実施します。制作初日となる 4 月 19 日は、「ガーデンベア」の作家である伊藤有孝氏が壁面に「ガーデンベア」を描写します。翌日の 20 日から、約 1 か月の間、大さん橋を行きかう来場者が自由に花をかたどったメッセージ用紙を壁面に添えることで花畑が完成し、ガーデンベアを中心とする巨大アートが仕上がる仕組みになっています。

本件は、来場者が自由に参加できる形式で行い、徐々に花畑が完成していく様子を SNS で発信する予定です。「ガーデンベア」は、「花と緑によって、街と人の心に豊かさをもたらす」との思いを人々へ伝えるというきらめく使命感を胸に誕生したマスコットキャラクターです。横浜市全体が花と緑によって、さらに美しく発展していくことを願って、ガーデンベアは積極的に人々へメッセージを伝えています。「bear」にはクマという意味のほか、花をつける、実を結ぶという意味もあり、ガーデンベアは、「花と緑の豊かさ」、「包容力」、「未来」の象徴として、横浜の花と緑の取組が多くの市民とともに実を結ぶよう、活躍していきます。

「ガーデンネックレス横浜」について

「ガーデンネックレス横浜」は、横浜の街を舞台に 2017 年から続く花と緑にあふれる都市「ガーデンシティ横浜」を推進するリーディングプロジェクトとして、毎年開催しています。横浜を象徴する港の景観のある「みなとエリア」をはじめ、横浜最大級の大花壇を有する「里山ガーデン」等の様々なスポットにおいて、サクラにはじまり、チューリップ、バラと、まるでリレーをするように咲き誇る花々を満喫することができます。

ガーデンベアについて

ガーデンベアは、「ガーデンネックレス横浜 2025」のマスコットキャラクターとして、会期中、様々なスポットで活躍します。ガーデンベアは、2017年「全国都市緑化よこはまフェア」のシンボルキャラクターとして、フェアのアドバイザーであり、アニメーションディレクターでもある伊藤有壱（ゆういち）氏がデザインしたキャラクターです。横浜の花と緑をPRするマスコットキャラクターとして親しまれています。グリーンの体に満開の「天然」花アフロヘアーが自慢の元気いっぱいのガーデンの妖精。英語の「BEAR」には、「クマ」のほかに「花をつける・実を結ぶ」という意味が込められています。



©ITOON/GN

伊藤有壱氏について

1962 年生まれ。東京藝術大学美術部デザイン科卒。1998 年、I.TOON Ltd.設立。東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻教授。日本アニメーション協会理事。クレイを中心にあらゆる技法を使いこなし、キャラクターデザインやアニメーションなど幅広い分野で活躍。代表作は NHK E テレ「ニャッキ!」、NHK みんなのうた「グラスホッパー物語」、松竹社 110 周年記念事業作品「ノラビッツ・ミニッツ」、ミスタードーナツ「ボン・デ・ライオン」TVCM、宇多田ヒカル「traveling」MV、平井堅「キミはともだち」MV など。2011 年オリジナル短編アニメーション作品「HARBOR TALE」を製作。同作は 2012 年 ZLIN FILM FESTIVAL（チェコ）アニメーション部門最優秀賞、観客賞を W 受賞。横浜文化賞文化・芸術奨励賞、文化庁メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞受賞。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

横浜ガーデンネックレス PR 事務局担当：

(株)VA インターナショナル

田中/岩野/堀口

TEL：03-3499-0016 FAX：03-3499-0017 メール：vai@va-intl.co.jp